

鉄道ピクトリアル

2003年3月号 Vol.53 No.3 通巻No.729

<特集> キハ55系

■表 紙 ローカルで使用される晩年のキハ55系 石原 裕紀
山陰本線 下北条一倉吉 1982-11-3

■カラーページ

特集: NOSTALGIC EXPRESS(1~7ページ)

伊藤 昭・伊藤俊郎・石原裕紀・巴川亨則・萩原詳雄
大久保広樹・長谷川明・井上武・真鍋裕司

私鉄のキハ55系(8ページ)

浜村正弘・和田康之・真鍋裕司
Pictorial Color Gallery 可部線 大好き 小路たかし 73
「京成電鉄3000形/帝都高速度交通営団08系/JR西日本683系」
「系2000番代/JR東日本251系リニューアル車/高松琴平電」 76~80
「気鉄道「旧型電車祭り」開催/相模鉄道6000系塗色復元ほか」

■グラフ

キハ55系 車両形式集 構成: 藤田吾郎 25
キハ55系 懐かしの名場面 写真: 伊藤威信ほか 36
私鉄のキハ55系 写真: 小林庄三ほか 38
サンディエゴ・トロリー アメリカ LRT の先駆者 宇都宮淨人 40
トピック・フォト(各地・関東・中部・関西) 81
いさり火列車 回想 解説: 和田京太 88
JR西日本岡山電車区 113・115系の近況 安藤 寛朗 90
JR各地の話題 原 敬一ほか 92
D51その一族—1115分の1の素顔—(54) 構成: 編集部 94
小田急ニュース 長内 宏 96

■本文

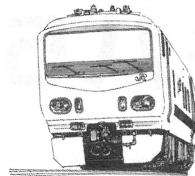
今月の話題: キハ55系 編集部 9
キハ55系 車両のあゆみ 岡田 誠一 10
デビュー当時のキハ55系 急行・準急の活躍 三宅 俊彦 42
高山本線のキハ55系 「のりくら」を中心とした DC 列車の変遷をたどる 渡利 正彦 50
島原鉄道のキハ55形・キハ26形の軌跡 田栗 優一 56
〔キハ55系車歴表〕 作成: 藤田吾郎 62

*

鉄道の話題 編集部 41
京成電鉄3000形 村中 勇太 70
書評(472)『ゲージの鉄道学』 和久田康雄 97
「湘南新宿ライン」1年の経過と東京圏の輸送改善 新井 誠 98
山梨リニア実験線 近年の技術開発と試験状況 井上 明彦 104
サンディエゴ・トロリー アメリカ LRT の先駆者 宇都宮淨人 110
連載・パーツ別線路観察学[3] 石本 祐吉 116
12月のメモ帳 119
読者短信・情報ファイル 120
後部車から 124

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru



カット: 山本茂樹

キハ55系

キハ55系は1956(昭和31)年に誕生した国鉄最初の準急用気動車である。狭幅車体で客室設備が満足できるものではなかったキハ10系をはじめとした在来の気動車に対し、キハ55系では軽量客車の技術を導入して車体を大型化し、旅客サービス面で準急列車に相応しい設備が確保された点が大きな特徴である。基幹形式のキハ55形のほか、キロ25、キロハ25、キハ26に、キハ60、キロ60を加えた6形式からなるグループで、キハ55形はDMH17機関を2台搭載した強力形である。1956(昭和31)年に試作のキハ55形5両が新製され、同年10月10日から上野一日光間の全車座席指定制の準急「日光」でデビューし、翌1957(昭和32)年から量産車がお目見えして、全国各地の準急列車へ投入されていった。最終的にキハ55系は1961(昭和36)年まで、総勢489両が新製された。

こうして、全国の非電化幹線等の準急として活躍し、スピードアップ、輸送サービスの向上などに大きな成果をあげたキハ55系であるが、1960年代以降、急行形のキハ58系が誕生すると、優等列車運用の主力の座を次第に追われることとなる。以後は準急・急行運用の補助的な役回りとなり、さらに1970年代以降、優等列車の冷房化等の体質改善が進むと、冷房化改造の施工を見送られたキハ55系はローカル用へと相次いで格下げされていった。このあたりの経過が、気動車の発展史上で、優等気動車列車の躍進の先駆として大きな役割を果たしたわりに、今日、キハ55系が地味な存在として認識される所以であろうと思われる。キハ55系は後年郵便荷物車に改造されたものを含め、1987(昭和62)年春までに全車廃車となり、JR各社には1両も継承されずに終焉を迎えた。

TETSUDŌTOSHO KANKOKAI
New Kokusai Bldg., Marunouchi
3-4-1 Chiyodaku, Tokyo/Japan

今月の話題